



まごころ

慈英病院の理念

真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します

敬老会

日本では1935年以降高齢化が進んでいます。敬老の日の始まりは、1947年に兵庫県多可郡間谷村（現在の多可町八千代区）の村長と助役が提唱した「としよりの日」だと言われています。（老人を大切にし、年寄りの知恵を借りて村作りをしよう）と敬老会を農閑期にあたることと、気候が良いことから9月15日に開いていたことが、1950年には兵庫県全体に広がりました。その後1965年には国民の祝日「敬老の日」と制定されました。

慈英病院では毎年9月に敬老会を開催しています。入院期間が長期になりますと社会との関係が薄れ、季節を肌で感じる事が少なくなりがちなことから、病院で療養中であっても季節の移り変りを共に感じ、記念日を共に祝いたいと思っています。実際に今年敬老会に参加していただいた中武康様の感想をご紹介します。

～敬老会に参加して～

院長が理念としている高齢者社会に対して、高齢者ならびに患者のイベントとして真心こめて企画されたことでしょう。

来年のイベントは、より一層の企画を通して患者に愛されるような催し物を行ってほしい。それには今年行った1部から3部まで分かれて行ったことではなく、東病棟と西病棟の対抗のような方法を取り入れれば、尚一層患者と家族が一体化するのではないかと思います。そのためには何をすればよいか検討する必要があると思う。それができればより一層に面白くなるのではないかと敬老会参加への期待する思いです。

健康第一！
早目の健診！
私は心がけて
おります



(中武康様写真)



(今年の敬老会写真)

先日1泊2日で家に帰りました。帰ったら友人やら近所の人たちが家に来て私の入院時の状況をよく知っておられて、もう駄目だと思っていたらしく、よく元気になって帰って来たかと皆が関心していました。私はその当時のことを全然意識がなかったので分かりませんでした。病院はどここの病院かとも聞かれたので、中西町の慈英病院と言いました。そのあとに家族のものも夜食の席でお父さんは生きて帰ってくると思わなかったと子供たちが言いました。これから先は世間様の役に立つ立派な行いをして、亡き祖父のために一層努力してほしいと子供が言いました。慈英病院に担ぎこまれて院長をはじめ従業員の方々の適切な処置によりここまで元気になったわけです。これから先は退院を控えて尚一層看護に従うとともに、私自身リハビリに専念することが退院の近道です。今後も努力して今以上に元気な姿で帰りたいと思います。最後に慈英病院万歳を言って終わります。(中武康)

超高齢化社会を支える慢性期医療

1.【療養病床の医療区分について】

医療制度上療養病床において、疾患・状態と医療処置から3つに区分されます。医療区分3は医療の必要性が高く、医療区分1は医療の必要性が低くなっています。具体的には下記の患者様の疾患や状態で区分されています。

(医療区分3)

(疾患・状態)

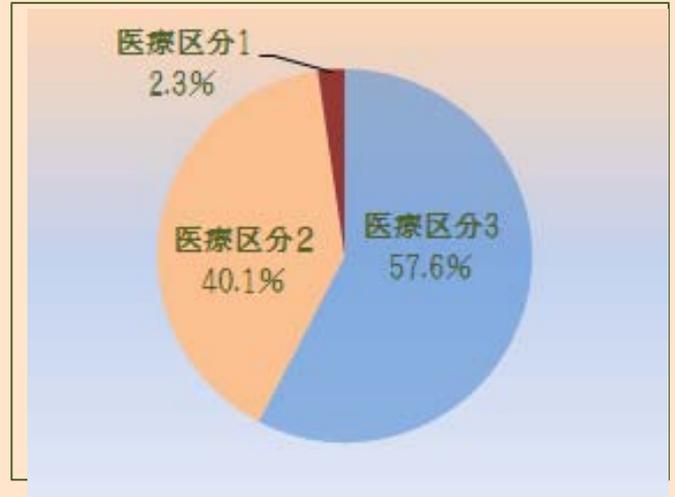
- ・スモン
- ・医師及び看護師による24時間体制での監視・管理を要する状態

(医療処置)

- ・中心静脈栄養 ・24時間持続点滴 ・酸素療法
- ・ドレーン法 ・感染隔離室におけるケア
- ・発熱を伴う場合の気管切開・気管内挿管のケア

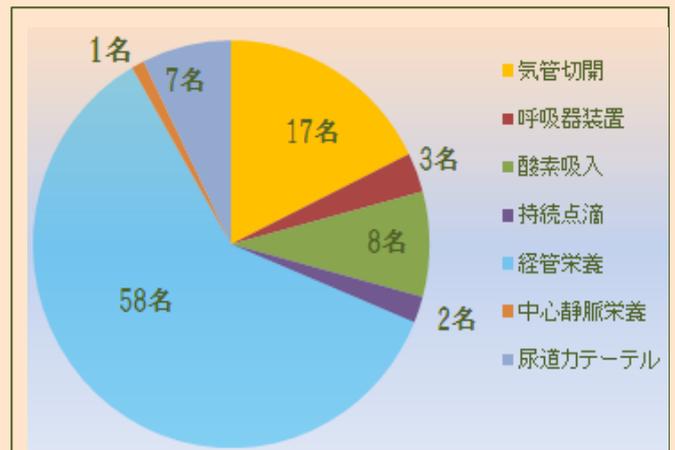
当院における医療区分分類(病床数 102 床)

平成 24 年 10 月現在



当院における特殊治療・処置を行っている患者様

平成 24 年 11 月 1 日現在



(医療区分2)

(疾患・状態)

- ・筋ジストロフィー ・多発性硬化症 ・肺炎 ・筋萎縮性側索硬化症 ・脊髄損傷 ・肺気腫 ・慢性閉塞性肺炎 ・尿路感染症 ・体内出血 ・パーキンソン病関連疾患 ・その他神経難病(スモンを除く)
- ・神経難病以外の難病 ・疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍 ・創感染 ・リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内 ・脱水 ・頻回の嘔吐
- ・褥瘡 ・うっ血性潰瘍 ・せん妄の兆候 ・うつ状態
- ・暴行が毎日みられる状態

(医療処置)

- ・透析 ・発熱または嘔吐を伴う場合の経管栄養
- ・喀痰吸引(一日8回以上) ・気管切開、気管内挿管のケア ・血糖チェック ・皮膚の潰瘍のケア ・手術創のケア ・創傷処置 ・足のケア

(医療区分1)

医療区分2、医療区分3に該当しない患者様

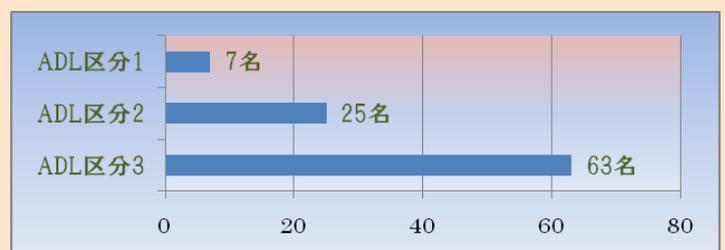
2.【療養病床のADL区分について】

医療制度上療養病床において、ADLの評価を行っています。当日を含む過去3日間の全勤務帯における患者に対する支援レベルについて、下記の4項目に0点～6点の範囲で最も近いものを記入し、その合計点数を算出しています。

項目	自立	準備	観察	部分的な援助	広範な援助	最大の援助	全面依存	本動作なし
a. ベッド上の可動性	0	1	2	3	4	5	6	6
b. 移乗	0	1	2	3	4	5	6	6
c. 食事	0	1	2	3	4	5	6	6
d. トイレの使用	0	1	2	3	4	5	6	6

合計点数	評価結果
0点から10点到該当	ADL区分1(軽度)
11点から22点到該当	ADL区分2(中度)
23点から24点到該当	ADL区分3(重度)

当院におけるADL区分評価分類



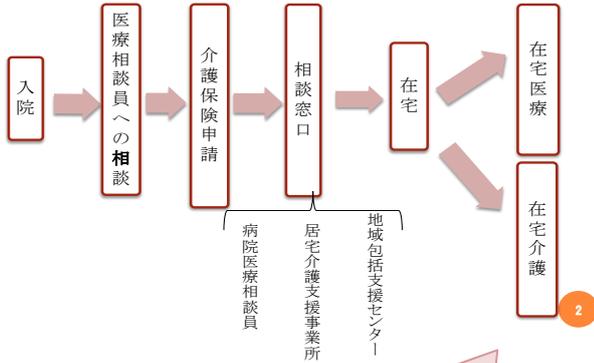
※ADL区分は、上記表の4項目(a～d)に0点～6点の範囲で最も近いものを選択し、その合計点数に従って上記のように評価しています。

家族教室「活用しよう！在宅サービス」

現在、当院のような慢性期の病院では、急性期の後方支援としての受け皿として、継続した医療を提供すると共に、在宅等への自立支援をサポートしていくという役割があります。

そういった中で、今回の家族教室は、たくさんある介護保険サービスの中から、『在宅サービス』にテーマを絞り、退院後にご自宅で障害を抱えながら療養を継続する方を支援するサービスをご紹介します。ご家族さまと一緒に希望をもって治療に取り組んでいただきたいと思います。

入院から在宅への流れ



介護サービスの利用を希望される場合
医療相談員の新しい名にご相談下さい。

実際に当院に入院されていた患者様で、右記の様にご家族様を中心に当院スタッフや担当ケアマネージャー、ヘルパー、福祉業者等で、ご家族の意向を取り入れながら退院支援に向けて取り組まさせていただきました。現在、その患者様は在宅で過ごされています。

ご家族様の介護負担を少しでも軽減する為に福祉業者よりレンタルしたスロープも設置いたしました。

患者様が住み慣れたご自宅で安心して過ごす事ができるよう、医療保険や介護保険には多様なサービスを準備されております。

私たちは、上手に活用して頂くお手伝いを行っておりますので、お気軽にご相談下さい。



在宅介護サービスの種類

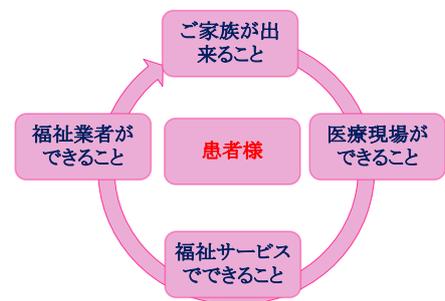
1. 居宅療養管理指導【医師、歯科医師、薬剤師など】
2. 訪問介護（ホームヘルプ）【介護士】
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護【看護師】
5. 訪問リハビリテーション【理学療法士など】
6. 通所リハビリテーションなど
7. 短期入所療養介護（病院ショートステイ）など
8. 福祉用具の貸与及び購入費の支給
9. 住宅改修費の支給



13

当院で提供できる在宅介護サービス

退院の準備を始めます



28

介護負担を軽減する為の移動手段1



玄関を通らず車椅子で居室に入る方法
スロープをレンタルします



13

入院患者様、ご家族様、デイケアご利用のご家族様等、ご参加頂きました。
ありがとうございました。

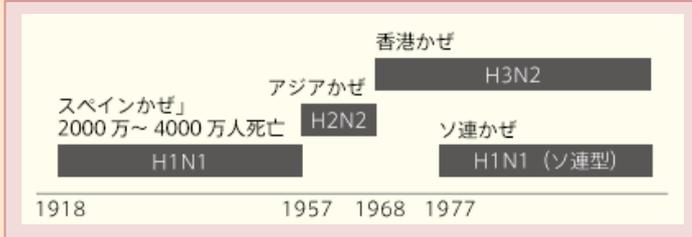
インフルエンザの季節です!

◎インフルエンザの流行シーズン

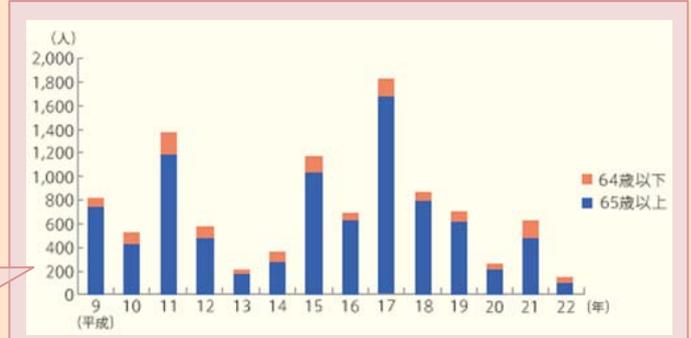
予防接種はお済みでしょうか。予防効果は、およそ2週間後です。

通常日本では、毎年11月下旬から12月上旬にインフルエンザのシーズンが始まり、1月～3月にピークを迎えて4月～5月にかけて患者数は減少します。毎年、人口の5%～10% (約600～1,300万人) がインフルエンザにかかると思定されています。

◎パンデミック(世界的な大流行)の歴史



◎インフルエンザによる死亡者数



インフルエンザを発症する多くは、15歳以下の子供です。しかし、死亡者の割合は圧倒的に65歳以上の高齢者の方です。

厚生労働省「人口動態統計」

◎流行はなぜおこるのでしょ。

一度ウイルスに感染すると、人間の身体にはそのウイルスを排除する働きを持った免疫(抵抗力)ができ、次にインフルエンザウイルスが入ってきても発病しにくくなります。にも関わらず、毎年インフルエンザが流行するのは、「昨年はA香港型の流行があったが今年はAソ連型が主流になった」などのようにインフルエンザウイルスの亜型が前の年と違うものであったり、A香港型の同じインフルエンザウイルス亜型の流行であっても微妙にインフルエンザウイルスが変異したりするためです。

◎インフルエンザワクチンとは何でしょう。

人間の身体には、ウイルスに感染するとそのウイルスを排除する働きを持った物質(抗体)を作り、次に同じウイルスが入ってきても感染症になりにくくする「免疫」という働きがあります。この働きを利用するのが、ワクチン接種です。日本国内で使われているインフルエンザのワクチンは「不活化ワクチン」で安全性が高いワクチンです。

※「不活化ワクチンとは、ウイルスに化学的処理を加えて感染性をなくしたもので、体が抗体を作る基となるタンパク質の有効成分から作られたワクチンです。自分自身を危険から守るために、周囲に人への感染を防ぐために、できるだけ予防接種を受けましょう。

◎日常生活から注意しましょう。

流行前に: インフルエンザワクチンを接種 インフルエンザが流行したら: 人ごみや繁華街への外出を控える。
外出時にはマスクを使用。室内では加湿器を使用して適切な湿度。帰宅時の手洗いうがい。バランスのよい食事。

クリスマス会のお知らせ

コーチ&アタッカー募集中です♪



開催日:平成24年12月16日(日)

時間:①10:30～11:10

②13:30～14:10

③14:30～15:10

④15:30～16:10

場所:食堂(東病棟)

みなさまのお越しをスタッフ一同お待ちしております。



第82回バレーボール大会がはじまりました



慈英病院バレーボールチーム



慈英病院

診療科目:内科・神経内科・リハビリテーション科

〒880-0853 宮崎県中西町160番地

TEL 0985-23-5000 FAX 0985-23-5886

<http://www.jiei.jp> e-mail info@jiei.jp

編集委員

江藤裕子 高瀬祐枝
竹迫彩 富永亜津妙
横山恵美子 黒木咲野
清泰蔵 砂地優宏
黒松和子 角畑エイ子
中野麻美 平賀絹代
東洋一